



XML コンソーシアムとデジタルコンテンツ協会、 コンテンツの配信許諾および利用許諾取引の標準 「ContentsBusinessXML」勧告案を公開 ～コンテンツ取引のための著作権事務処理の効率的、円滑化による流通市場拡大をめざして～

XML コンソーシアム（会長：鶴保証城 NTT ソフトウェア(株) 代表取締役社長）と財団法人デジタルコンテンツ協会（会長：岡村正 (株)東芝代表取締役社長）は、コンテンツ流通の促進を目的に著作物利用のための権利処理に必要な情報（メタデータ）を XML 化し、「ContentsBusinessXML」として勧告案を公開し、広く一般の意見を募集するパブリックレビューを本日より開始することを発表しました。

「ContentsBusinessXML」は平成 14 年度経済産業省受託事業（EDI 実証実験）としてデジタルコンテンツ協会がコンテンツ流通関連事業者（権利団体、コンテンツホルダ、配信事業者等）の協力を得て体系化した取引関連の情報項目（メタデータ）をベースに、今後の市場ニーズに先行対応するために XML 化し、標準化を図るものです。この規格は、コンテンツ流通市場における配信許諾、利用許諾の多層的取引（権利者団体 コンテンツホルダ 配信事業者）において、人間系による多種多様な取引手順や煩雑な紙ベースの取引帳票による事務処理の効率化を目指して、配信事業者とコンテンツホルダ間でコンテンツの配信許諾の取引に使用するメッセージ、及びコンテンツホルダと権利者団体間で著作物の利用許諾の取引に使用するメッセージを整理・体系化し、コンピュータ上で交換可能な XML 形式として規定したものです。

具体的に今回の勧告案では、配信事業者とコンテンツホルダ間でコンテンツの配信許諾の取引に使用するメッセージ 4 種と、コンテンツホルダと権利者団体間で著作物の利用許諾の取引に使用するメッセージ 4 種の計 8 種類（下記）のメッセージを規定しています。

< 配信事業者とコンテンツホルダ間の配信許諾の取引に使用するメッセージ >

- コンテンツ配信許諾申請
- コンテンツ配信許諾回答
- コンテンツ配信実績報告
- コンテンツ使用料請求

< コンテンツホルダと権利者団体間で著作物の利用許諾の取引に使用するメッセージ >

- 著作物利用許諾申請
- 著作物利用許諾回答
- 著作物利用実績報告
- 著作物使用料請求

パブリックレビューでは、インターネット上（下記 URL）で勧告案の仕様を一般公開し、一定の期間を設けて仕様に対する意見を募集します。その後、必要な意見を吸収した上で XML コンソーシアムの定める標準化プロセスに沿って最終的に「勧告」として公開する計画です。

仕様公開 URL： <http://www.xmlconsortium.org/wg/ContentsBusinessXML/>

仕様の公開日： 2003/05/26

コメント募集期間： 2003/05/26～06/26

コンテンツ利用情報標準化部会について

著作者団体、コンテンツホルダ、配信事業者の間で行われるコンテンツ利用に使われる情報について業界での利用形態を調査・研究し、業界全体の効率化を目的としたコンテンツ利用情報の XML による標準化提案を目指して設立されました。関連業界におけるノウハウをベースに活動を行うために、DCAj に協力をいただいています。

<2003 年 5 月現在の参加社(社名 50 音順)>

- NTT コムウェア株式会社
- 株式会社 NTT データ
- 沖電気工業株式会社
- 日本オラクル株式会社
- 株式会社日立システムアンドサービス
- 株式会社日立製作所
- 日立ソフトウェアエンジニアリング株式会社
- 広島商船高等専門学校
- 富士通株式会社

XML コンソーシアムについて

XML コンソーシアムは、XML 技術のビジネスにおける実用化推進を行う国内唯一の団体です。セミナー・イベント、部会活動、情報発信、標準化推進、各業界団体との連携などの具体的な活動を通じて、さまざまなコンピュータシステムにおける XML 技術の適用に貢献してまいります。特に XML コンソーシアムでは、2001 年 10 月に「Web サービス推進委員会」を発足させ、部会活動と共にその普及啓蒙を推進してきました。今後も更に Web サービスの実用化に向けた活動を続けてまいります。

(<http://www.xmlconsortium.org/>)

財団法人デジタルコンテンツ協会 (DCAj) について

DCAj は経済産業省下の財団法人として、情報化社会をリードする良質なデジタルコンテンツ（映像・画像・音声・文字・数値情報の属性及びその媒体を問わず、デジタル化された情報に係わるコンテンツをいう）の制作、流通、利活用を推進することにより、これに係わる産業の健全な発展を促すとともに、文化の向上と快適かつ心豊かな国民生活の実現及び国際貢献に資することを目的に設立運用されており、コンテンツ流通促進のための基盤整備事業の一つとして今回の開発を推進しました。

(<http://www.dcaj.org/>)

<お問い合わせ先>

XML コンソーシアム事務局

<http://www.xmlconsortium.org/>

電話：03-5600-6205

担当：田中（富士ソフト ABC 内）

E-mail: xmlcons@fsi.co.jp

財団法人デジタルコンテンツ協会（

<http://www.dcaj.or.jp/>

電話：03-3512-3901 FAX：03-3512-3908

担当：コンテンツコマース推進室 木村

E-mail： kimura@dcaj.or.jp

以上